

ESA に関する FAQ：リスナーとは何ですか。

目次

[はじめに](#)

[リスナーとは何ですか。](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Eメールセキュリティ アプライアンス (ESA) で使用されるターム リスナーについて説明します。

リスナーとは何ですか。

注: この情報は礼儀として提供されます。ESA がリスナーの詳細については現在実行する AsyncOS バージョンと関連付けられる [ユーザガイド](#) を検討することを推奨します。「参照 しまメール」受信するためにゲートウェイを章を設定します。

アプライアンスはメール接続を保守し、メッセージを受け入れ、適切なシステムに中継で送ると同時に同時に組織のためのメール ゲートウェイ機能します。アプライアンスはインターネット ネットワークの中の受信者のホストへのとネットワークの中のシステムからインターネットにメール接続を保守できます。通常、メール Connection 要求は Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) を使用します。アプライアンスは SMTP 接続をデフォルトで保守し、ネットワークのための SMTP ゲートウェイ、別名メール エクスチェンジャまたは「MX として」機能します。

アプライアンスは着信 SMTP Connection 要求を保守するためにリスナーを A リスナー記述します特定の IP インターフェイスで設定されるメール 処理サービスを使用します。リスナーはインターネットまたはインターネットに達することを試みるネットワーク内のシステムからアプライアンスを入力する E-メールを送るために適用します。リスナーをメッセージ許可されるために満たすおよび接続が必要があるおよび使用して下さい受信者のホストに中継で送られるべきメッセージのための条件を規定するのに。各 IP アドレスのための特定のポートの実行が規定したこと「SMTP デモン」としてリスナーを捉えることができます。また、リスナーはアプライアンスがアプライアンスにメールを送信することを試みるシステムとどのように通信するか定義します。

リスナーのこれらの型を作成できます:

- パブリック-インターネットから入る電子メール メッセージを聞き取り、受け入れます。公共リスナーは多くのホストから接続を受信し、受信者の限られた数にメッセージを指示します。
- Private -内部グループウェアおよび電子メールサーバ (POP/IMAP) からのネットワーク内のシステムから、一般的に来るインターネットのネットワークの外部の受信者のために意図されている電子メール メッセージを聞き取り、受け入れます。ホストおよび直接メッセージの限られた (既知) 数からの多くの受信者への私用リスナー レシーブ接続。

アプライアンス GUI (ネットワーク > リスナー) からのまたはアプライアンス CLI

(`listenerconfig`) からのリスナーを設定できます。

とはたつき、アプライアンスのリスナーを設定するときこれらのルールおよびガイドラインを考慮して下さい:

- 構成された IP インターフェイスごとの複数のリスナーを定義できます各リスナーは異なるポートを使用する必要があります。
- デフォルトで、メール接続を保守するメール プロトコルとしてリスナー使用 SMTP。ただし、また速い Mail キューイング プロトコル (QMQP) のメール接続を保守するためにアプライアンスを設定できます。これを設定するために、`listenerconfig` CLI コマンドを入力して下さい。
- リスナーは両方ともバージョン 4 (IPv4) およびバージョン 6 (IPv6) アドレス Internet Protocol (IP) サポートします。単一のリスナーでどちらかのプロトコルバージョンまたは両方を使用できます。リスナーは接続ホストと郵便配達のために同じプロトコルバージョンを使用します。たとえば、IPv6 を使用するリスナーが両方の IPv4 および IPv6 のために設定され、ホストに接続すれば、リスナーは IPv6 を使用します。ただし、リスナーが IPv6 アドレスを使用するためにただ設定されれば IPv4 アドレスだけを使用しているそれはホストに接続できません。
- 少なくとも 1 人のリスナーはアプライアンスで (デフォルト値と) システム Setup ウィザードを実行した後設定されます。ただし、リスナーを手動で作成するとき、AsyncOS はこれらのデフォルト SenderBase 評判サービス (SBRS) 値を使用しません。
- C170 アプライアンス-デフォルトで、システム Setup ウィザードは両方に 1 人の公共リスナーの設定によってインターネットからのレシーブ メール 内部ネットワークからのメールを中継で送るために歩き。すなわち、1 人のリスナーは両方の機能を行うことができます。
- アプライアンスのテストし、解決を助けるために公共か私用リスナーの代わりに「ブラックホール」型リスナーを作成できます。ブラックホール リスナーを作成するとき、メッセージがディスクに書き込まれるか、またはない前に削除されるかどうか選択します。それらを削除する前にキューのメッセージおよび速度を受け取るためにディスクにメッセージを書き込む choose、それ比率を測定するのを助けることができれば。ディスクにメッセージを書き込まないリスナーはメッセージ世代別システムからメッセージを受け取るために純粋な比率を測定するのを助けることができます。このリスナー型は CLI で `listenerconfig` コマンドによってだけ利用できます。

注: 再度、ESA がリスナーの詳細については現在実行する AsyncOS バージョンと関連付けられる [ユーザガイド](#)を参照して下さい。

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)